

自分らしい住まいがほしい

ありきたりでない仕事場をつくりたい

そんなあなたに ACB

ACB

Arts & Crafts Book issue 8



特集

今こそホステル。

HOSTEL 64 Osaka





Lobby

一流的デザイン、ただし宿泊料金も一級品な高級ホテルか、
現実的な料金だけデザインをはじめ、いろんなことに目をつぶらなきゃいけないビジネスホテルか。
なぜ1泊ひとり5千円前後で、おしゃれな宿はないのか?
ないなら作ってしまえ、ということでA&Cが
1964年に建てられた小さなレトロビルをリノベーション、
宿へのこだわりを詰め込んだ「HOSTEL 64 Osaka」を開業します。
オープンにさきがけて、A&C代表、中谷ノボルに話を聞きました。



今こそホステル。

~HOSTEL 64 Osaka、2010年3月16日開業~

—プロフィールにも「趣味は世界の水辺を旅すること」って書くほどだし、旅好きが高じてついに作ってしまったって感じ?

中谷：趣味とか道楽じゃなくって、ビジネスとしてこのカテゴリーに圧倒的な需給のアンバランスを感じるねん。たくさん見てきたからこそ、日本にはこの「バジェット(budget: 安い、高価ではない)でデザインされた小規模ないい宿」っていうカテゴリーがないと強く思うようになって。外国旅行してたら、一つ星とか星なしクラスでも、個人オーナーのセンスとかこだわりとか丁寧な愛情を感じられる宿があるけど、そういうのがない。

—日本もこだわりの民宿はたくさんある。

中谷：うん、でも、基本は「田舎」やろ。「都会」で、個人オーナーの顔が見えるホテルがないねん。京都にはまだあるけど、大阪はほんまにない。世界でも何本かの指に入るような大都会やのに、何でやねん? って。それで観光都市とか本気で目指してるなんか? と。

—もっと世界の人に大阪に来てほしいってこと?

中谷：そうやなあ。素の大阪に触れてほしい。難波宮の時代から千数百年間都会であり続いている歴史ある街で、良くも悪くも景観保存とかせずに、そこに暮らす人のための生々しい都市。四天王寺さんとかの古い

Dormitory

イメージは武士の寄宿舎から



ゆったりめのドミトリーは熟睡できそう



明るいバルコニーに面したツインの部屋

Room
和室スタンダードは床の間付き

ものあり、日本橋の電器屋街あり、近代建築も日本でいちばん残ってるし、川があり、オバハンがおって、鶴橋があつて……そういう層の厚さ、懐の深さが大阪の魅力やと思うねん。でも、1日滞在ではUSJ行って道頓堀を歩いて終わり。だからもっと手頃な値段の宿でゆっくり滞在してもらいたい。とはいえ、安からう悪からう味気なからうじゅうアカンねん。

—「HOSTEL 64 Osaka」で日本らしさ、大阪らしさをどう表現しよう?

中谷：大阪らしさ論になると難しいけど、チェックインしたらウェルカムたこ焼きが出て、ロビーでは吉本のお

笑いDVDが流れてるといった「記号」を並べるのじゃなくて、さつき言ったような大阪の多様性が表現できればとは思った。和室があつてフスマで畳でデザインコンシャスで、ウォシュレットがあつてシャワーマシンがあつて高性能マッサージチェアがあつて。あとは、ソフト面でのスタッフのフレンドリーさとかになっていくんかな。一設定は、外国人向けの宿でしょ?

中谷：いや、そんなことはない。国籍とか性別とか年齢とかじゃなくて、日本人も含めて世界中のクリエイティブ層や、インテリアや空間に感度の高い人たちをターゲットとして意識してる。それと、全項目が「まあま

あ」より、ひとつでも「抜群」があればいいという価値観の人に来てほしいし、受け入れてもらえると思ってる。—エンジ色で金の銀杏柄の壁紙とか、仏像のポスターとか。「外国人に受けるニッポン」感を演出してるのかと。中谷：歴史に「たら、れば」はないけど、日本があんな黒船開国じゃなくって、ゆるやかに西洋文化を受け入れてたとしたら、2010年ってこんな混じりかたになつてたんとちやうやろかと思ってデザインしてん。もともとの文化とか習慣とか起居様式に、異分子が入ってきて、拒否反応を起こしつつも少しづつ角が取れて、時間をかけてこなれていくのが自然やんか。だって、ちよ

まけから急に鹿鳴館でダンスやで? 柔軟といえば聞こえはええけど、西洋文化の取り入れかたは極端すぎる。中国や韓国からの文化は長い時間かけて受け入れてるから、日本独自のものとしてこなれてる。そのイメージ。逆に、今あるいは「日本的な宿」の方が、ちょっと外国人向けのうそぞさを感じてしまう部分があつて。演出されてるわけやろ。しおどしがあって団炉裏があつて、テーマパーク的に…。—ところで、総工費が約3000万円。築45年の一棟の建物を、宿にコンバージョンするには驚愕のコストバフォーマンスやと思う。

FROM PROJECT MEMBER

ゲストハウス由苑

藤原沙樹／椎野佳奈

縁の下の力持ちボジションで、ロクヨンの目には見えない運営全般を握っています。なんかもロクヨン頑張っているという空気を感じたらそれが私達です、たぶん(笑)。ホテルのようではホテルでない、ゲストハウスのようではゲストハウスでない。その隙間にあるホステルであること。そんなホステル・ムーブメントを大阪のみならず、日本中に!

[● http://www.u-en.net](http://www.u-en.net)

環境デザイン事務所 素地 (soji)

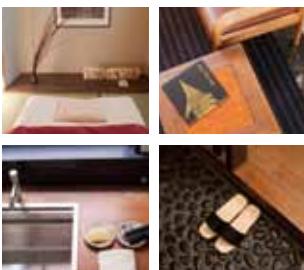
松下岳生

屋外に置かれた大型プランターのデザインと、そこに植栽されているグリーンデザインを担当しました。たとえば、4Fベランダの植栽は室内への圧倒的な縦量とマンションの隠し、ホテルのエコファサードを兼ねています。ワサワサに育つ樹種ばかりなので、数年後にはエライことになっているでしょう。ちなみに、屋上に降り注いだ雨水は貯留タンクにストックして、打ち水や水やりに活用できるようにしています。千客万来!

[● http://so-ji.blogspot.com](http://so-ji.blogspot.com)

バルコニーの植物が育つのも楽しみ

Detail



FROM PROJECT MEMBER

UMA/ design farm



原田祐馬
ロゴマークのデザインをしました。ロクヨンの家紋のようになればとの思いをこめたデザインです。扇子やタオルなどのグッズやアメニティもデザインしましたが、さらに近隣のお店とコラボレーションして、和三盆のような和菓子や石けんなどにもロクヨンのロゴマークが展開されるといいですね。新たな街の拠点になることを期待しています!

● www.umamu.jpYYAA/山本高寛建築設計事務所
山本高寛

小物やサイン類の作成からブログ管理、写真撮影、引越屋にいたるまで、よろず相談係です。お越しの際はぜひ、細かい部分にもご注目を。きっとあなたの周りに私のデザインが潜んでいます。みなさまに育まれたロクヨンさんが、末永く愛される一人前のホステルに成長できるよう影ながら応援しつつ、ラウジで一杯やる日が待ち嬉しい今日この頃です。

● <http://yyaa.jp/>

旅人の目印となるロクヨン看板

中谷：「この予算でここまでできる」っていうのが。オレのいちばんの才能やと思ってるもん(笑)。

一安くて美味しい?

中谷：そこ重要やろ？ 金あつたら誰でもそこそこできるやん。

一実はそれがめっちゃ大阪らしいのかも。

中谷：そうやねん、そもそもなんで工事費用を抑えられたかというと、投資すればだけ宿泊費用が高くなるやろ？ オレは世界の旅慣れたクリエイター層に大阪でゆっくり滞在してほしい、だから、バジェットな価格帯にしたい。そのためには、初期投資を押さえて、ドミ

トリーならシングル3900円～、個室も9800円っていう、「普通に働いてる人」にとって日常的な価格設定にしかったん。

一まあ、1泊3万円は日常的な価格じゃない。

中谷：一点豪華主義みたいな旅行したい人にはええねんで。でも普段の金銭感覚からいうと、あり得へんやろ。旅行って非日常を求める部分もあるけど、値段までもが非日常である必要はなくって。オレは暮らすように旅したいねん。だから今のオフィスの設計コンセプトも「暮らすように働く」。

一お金の話に戻ると、もっと工事予算があればとは、全

COLUMN

用・途・転・用

コンバージョンの底力。

既存のストックを再生するリノベーションのなかでも、特に建築の用途を変えることを専門用語で「コンバージョン」と言います。今回のHOSTEL 64 Osaka がまさにそう。このコンバージョン、実はA&Cの“得意技”なんです。

A&Cの転用歴

作業場兼倉庫 ⇒ 寝泊まりできる空間

クラフトスタジオ神路(2001)

倉庫に住設設備を整えて寝泊まりOKの白いハコを置いた。5mの天井高、ローブで開閉する超アナログなトップライズは基地感満点！



衣料品商社ビル+宿舎 ⇒ 賃貸マンション

鐘屋アパートメント(2004)

織維産業が華やかだった60年代に大阪谷町に建てられたビル。「用途変更」に必要な確認申請を経て、集合住宅として生まれ変わった。



キャンピングカー ⇒ 移動する私的空间

ヨタロウ(2005)

10年落ちのVW社ヴァナゴンに住宅的発想で家具や内装をしつらえ、シャワー/WC/キッチンも完備。ヨタロウは今もどこかで旅の途中。



寿司屋 ⇒ 新雑居ビル

うつほの荘(2007)
5階建ビルを購入した夫婦が上階を自宅に、下階をテナント化。1階は界隈のレストランに卸す有機野菜の店、2階は定期的に入院する鍼灸院、3階はフランス菓子教室と個性あふれるテナントと共に共存している。

FROM PROJECT MEMBER
ロクヨンとコンバージョン。
アートアンドクラフト
枇杷健一 (担当設計者)

本来、用途変更の法的な手続きは必要書類が整つていれば難しくはないんです。
「確認申請書」「確認済書」「完了検査済書」がなってもらえる。でも築後45年も経ち、その間に所有者も変わったときに、當時の書類があれば受入態勢には問題ないと思います。
さて、保存なんてされないわけでも？そんな事例は一つもない。バスルームを見つかったのは確認申請台帳「証明書」と新築時の「設計図のみ」それを持つて建築主事に相談に行きました。事務所を旅館に転用大阪でははなまた全国的に見ても？そんな事例は一つもない。バスルームを組立てるみたいに手持ちの資料を使って合法の建物だといちから説明しどうにか受け入れてもらいました。これでやっとスタートライござります。

設計を進めるうちに次の閑門「旅館業法」にぶつかります。大阪市保健所で、計画が構造設備基準、衛生基準に適合しているかどうかチェックされます。そもそも旅館に適した場所なのか？ 色や照明は？ 要はプロではないのかといっ議いで、次に直面するのが「消防法」。旅館は事業所とは違って、不特定者が前提となるため、初めて訪れた人が火災時におやんと避難できるかどうか、そいつい消防設備がほとんどないどころか、フル装備する必要がある。これが一番大変でした。

Common Space

自慢のサイバーマッサージチェア



季節がいい日はルートップで朝食を



通称、左がAKIRAシャワー、右は利休シャワー

なつかしいタイルのキッチン&洗面台

ロビーの横には大きな本棚が

ロビーの横には大きな本棚が

FROM PROJECT MEMBER

Calo Bookshop & Cafe

石川あき子

ロビーと客室に置く書籍のセレクトを、ランダムウォークブックスの井上将人さんと担当しました。60~70年代のデザインをテーマにしようとしたら男の子のイメージが強くなってしまうのですが、当時の日本の女性誌とロングセラーエン本でやわらかい雰囲気をプラスしました。英語の読み物・マンガは井上さん担当。ひとひねりしたセレクトで、「またタン・フラウンか」と旅先のお宿の本棚にがっかりし続けるのは、このホステルでもう終わりです。

●<http://www.calobookshop.com/>



然思わなかった?

中谷：ぜんっせん。オレ、ゴージャスなもんが嫌いで苦手やん。言い出すとキリがない。あえて言えば、各部屋に小さくてもいいから洗面スペースを作れたらなあとは思ったけど、いろんな理由で断念した。
—今後もこのHOSTEL事業を展開していくと思ってる？

中谷：興味をそそる立地と建物があれば、ってくらい。大阪でも博多でもバンコクでもいい。別に、「HOSTEL 64 Osaka」で異業種参入したっていう気はないから。だって、長い時間を過ごす空間という意

味では「住まい」と変わらんし、今までやってきたことの延長線上やと思ってるしね。

—最後に何かあれば。

中谷：「こんなものがあればいいのに」「今あるこんなもののここが変」って、ユーザー視点で常にものを考えてることが、宿という形で表現できたことがうれしいかな。そういう空想力とコスト管理がオレの才能。

—「オレ、最高」!?

中谷：違うって、自分の欲しいものがないから作る。それだけです。



HOSTEL 64 Osaka

[読み] (英) hostel sixty four Osaka

(日) ホステル ロクヨン オオサカ

[所在] 大阪市西区新町3 丁目11-20

[構造] 鉄筋コンクリート造4階建て

[建築] 1964年築

[改修] 2010年リノベーション

[部屋数] 全10室

(和室6、洋室3、ドミトリ一1)

[運営] 株式会社アートアンドクラフト

[料金] 和室スタンダード 9,800円／室

セミダブルベッドルーム 10,800円／室

ドミトリ一・レギュラー 3,900円

[予約] ウェブサイトから

[HP] www.hostel64.com



column

08

中谷ノボルのニッポンの住

ホステルとリノベは相性がいい。

日本の宿はもっとホステル化すべき!?

インターネット時代の世界の宿事情を思えば、この流れは必然かもしれません。



work by Masataka Kurose

これまでで最高の宿ってどこですか？ そう聞かれて、即答できる人はどれくらいいるだろう。旅の目的は人それぞれ。買い物や名所観光が主の人もあれば、宿や食事に重きをおく人もいる。自分は、宿の比重がかなり大きい方だと思う。というのも、海と夕陽が好きなので旅行中は宿で過ごす時間が長く、建築家という職業柄どうしても空間にこだわりがある。だからこれまでのベスト3は、どれも西向きのビーチに建つ名建築。ある意味、分かりやすい。

では、どうやってお気に入りの宿と出会えればいいのか。バックパックで世界を旅していた学生の頃は、通信手段や情報がまだ限られていたので、とりあえず目的の街までバスで行き、一軒一軒、宿を訪ね歩いていた。時間と体力が必要だがそれらは十分にあった

ので、予算内に納まるベストの宿をじっくりと選んだ。部屋を見せてもらい、値段の交渉をする。今となっては、宿選びのプロセスそのものが、その街の思い出になっていることさえある。

旅のガイド本が充実し、携帯電話が普及してくると、移動する前に次の街の宿をとるようになった。そして現在は、インターネットの時代。ホテル紹介サイトで世界中の宿が検索でき、内部の様子を写真や動画で確認できるだけでなく、数日前に泊まった人のレビューを読むことも可能。レーティング（評価）が高い人気の宿から予約が埋まっていくので、以前より宿を選ぶ時期が早まっているように思う。元来、早くから予約して行動するのが大嫌いなのだが、この便利さはもう捨てられない。ホテル紹介サイトで検索して宿を選ぶ手法は、今後ますます一般的になるだろう。

これらホテル紹介サイトでは、何をもって宿の評価をしているのだろうか。その評価の軸を調べてみた。たとえば、世界最大といわれるエクスペディア（Expedia）の評価軸は以下の4つ。

- 1.サービス
- 2.コンディション
- 3.部屋の清潔
- 4.部屋の快適度

国内の大手、楽天トラベルの場合は、

- 1.サービス
- 2.立地
- 3.部屋
- 4.設備アメニティ
- 5.風呂
- 6.食事

どちらもサービスや部屋の設備について共通項があるものの、キレイ好きが当然の日本では清潔の軸がなく、風呂にこだわり、宿と食事をセットで考える風潮があるのがおもしろい。

宿を経営する側とすれば、このレーティングの点数が経営に直結するため、日々チェックして一喜一憂しなければならない。一日でも早く部屋を売って予約で

埋めたいと思うので、点数が下がったところを改善しようと努力する。これがユーザーにとってもメリットとなるわけだが、点数が高い他の宿を真似てゆくため、業界全体が似たモノになっていく傾向がある。事実、ロンドンとムンバイと東京で人気のデザインホテルに泊まったが、中にいるどこの国に滞在しているか分からなくなるほど無国籍だし、湯布院と有馬の旅館の露天風呂と料理も似てきているのではないだろうか。ローカル色やオーナーのこだわりを感じることも旅と宿の醍醐味であるはずなのに、それが薄まっているのは寂しい。

話は変わるが、アートアンドクラフトで住宅のリノベーションを始めたのは今から12年前。きっかけは、どこの会社が造るマンションも一戸建でも、ぜんぶ同じに見えてビンとこない。なら自分たちでつくってしまえと、ありきたりではないがホントはこっちが使いやすいんじゃないのと思える間取り、そしてメンテに手間がかかるけどこの味わいが大好きと思える建材を使い、中古不動産を改修してあらたな住まいをつくり始めた。当時、つけたキャッチコピーが「均質化されていない住まい」で、いまも使っている。要是住宅の多様化を目指していたんだと思う。

今回、宿を始めるにあたり、ホテルでも旅館でもなく「ホステル」としたのは、住まいに不満を感じたのと同様、多様な宿があつてほしいという思いから。ホステルをウィキペディア英語版で調べると、以下のようなものだと書いてある。

- ・ホテルよりお手頃な料金で堅苦しくない宿泊施設
- ・バスルームは共用（時にはキッチンも）
- ・宿泊者が集うラウンジなど、和やかなスペースがある

リノベーションで、住まいが必要以上の設備と過剰

中谷ノボル：1964年大阪生まれ。建築家（アートアンドクラフト代表）。長屋再生からキャンピングカー暮らしまで、自ら多様な住まい方を実践し続けている自称「住まいの求道者」。趣味は世界の水辺を旅すること。



なプライバシー重視（個室化）から、シンプルな設備とオープンな間取りに変わっていったように、宿も少しホステル化すればいいんじゃないかと思っている。近ごろ人気の宿は確かに快適だが、部屋の造りからスタッフの対応まで、少々息苦しく感じことがある。ホステルを紹介する最大のサイトといわれているホステルワールド（HOSTELWORLD.com）の評価軸が興味深い。

- 1.個性
- 2.安全
- 3.ロケーション
- 4.スタッフ
- 5.楽しさ
- 6.清潔

先の二つのサイトにはなかった「個性」と「楽しさ」というポイントがあり、確かに点数が高いホステルはそれぞれ個性的で楽しそうだ。

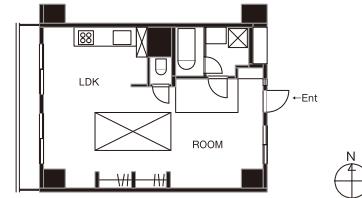
日本らしい宿、同時に京都でも東京でもなく、大阪らしい宿。そして、アートアンドクラフトらしい宿。HOSTEL 64 Osakaは、地域性とオーナーのこだわりが存分に感じられる宿を、ホステルというカテゴリーで実現するプロジェクト。「こんな宿がほしかった！」と、一部の人たちからでいいから最高の点数をいただきたい。それはとても難しいことだろうが、運営スタッフ一同がんばってゆこうと思う。百聞は一見にしかず。まずはみなさん泊まりにきてください。地元大阪の人たちもぜひ。急に商人になってしまったが、どうぞ、よろしくお願ひいたします。





人気の天満橋エリアでリノベ済みワンルーム

北大江公園の隣に位置する人気マンション。仕事場と兼用されてもうまくプライベートゾーンと使い分けられます。ふたりで暮らすもOK、ハードでがっちりしたテイストなので、オトコのひとり暮らしにもぴったりです。



大正築の近代建築「伏見ビル」より、明るい角部屋が登場

北浜から歩くこと数分、シンプルでレトロな佇まいが印象的な国登録有形文化財の伏見ビル。当初はホテルとして建てられたため、フロントや左右対称な明るい階段など洒落たチホテルの名残りがあちらこちらに。おひとりの事務所にちょうど良いサイズです。

[賃料] 48,000円 (共益費含む・消費税別)
保証金50万円 / 賃引25万円

[所在] 大阪市中央区伏見町2-2-3 伏見ビル2階

[交通] 地下鉄堺筋線北浜駅 徒歩約3分

地下鉄御堂筋線淀屋橋駅 徒歩約7分

[専有面積] 約3坪

[構造] 鉄筋コンクリート3階建

[建築] 大正12年

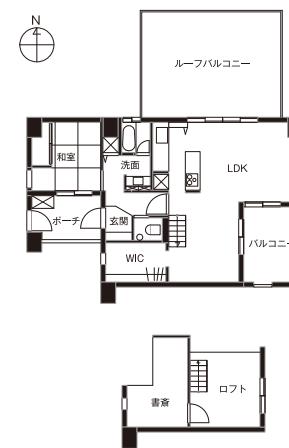
[取引態様] 仲介

[備考] 賃主による入居審査あり。24時間利用可。
平成22年6月より入居可能。



コーポラティブならでは！ルーフバルコニー付メゾネット

珪藻土・ヒノキ・杉といった天然素材がふんだんに使われています。天井高4mのLDKには、28mものルーフバルコニー。マンションではめったにない空間をお見逃しなく！



[販売価格] 2,280万円 [管理費等] 17,440円／月

[借地料] 8,900円／年額

[所在] 寝屋川市萱島南町 エルフラツツ萱島

[交通] 京阪線萱島駅 徒歩9分 [専有面積] 72m² [建築] 平成14年3月

[構造] 鉄筋コンクリート造10階建ての8階部分 [取引態様] 仲介

[備考] ベット飼育可(条件あり)、オートロック、宅配ロッカーあり。

駐車場空あり(13,650円／月)。



そのまま住むもよし、手を加えるもよし、A&C全面リノベ済みマンション

高槻市駅周辺は実はマンションがとても少ないエリア。最上階角部屋のこちらの住戸は、ゆるやかに独立性を持たせた設計でお子さんのいらっしゃるご家庭にもおすすめです。スペース毎にテイストの違う内装や、洗面スペースのポップな色使いにもご注目。

[販売価格] 1,590万円

[管理費等] 21,360円／月

[所在] 高槻市大手町3 ハイツ大手町II

[交通] 阪急高槻市駅徒歩約5分

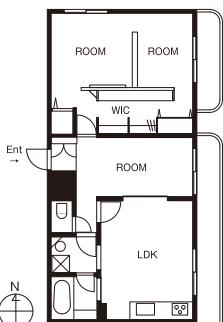
JR高槻駅徒歩約10分

[専有面積] 67.2m² [建築] 1985年12月

[構造] RC造4建ての4階部分 [取引態様] 仲介

[備考] エレベーターはありません。7年前にA&Cで全面リノベ済み。

JRなら大阪(15分)、京都(13分)と便利です。



街たのな

第3回目

辺口芳典 Henguchi

<http://kuromegarou.seesaa.net>

重量挙げの友人が

ビルとビルの隙間で

重量挙げをしていたときの話です。

実に膨らんだランドセルを背負った男の子が

「重量挙げっていうのは、重量を上げることなんだよ」と
女の子に言いました。

女の子のランドセルは普通の膨らみでした。

男の子と女の子は手をつないでいました。

重量挙げの友人は

ビルとビルの隙間で

重量を上げるのを止めました。

普通に膨らんだランドセルを背負った女の子が

「重量挙げっていうのは、重量を下げるのことなんだね」と
男の子に言いました。

男の子のランドセルは少し膨らみを無くした様でした。

ビルとビルの隙間には

実に膨らんだ静寂が戻ってきました。

まだがんばってます！

vol.8 アクリル板



古い建物をリノベーションしたその現場で、
まだ生き残っているモノたちが語ります。

同僚のみんな、元気にしてますか？ 私はまだがんばってます。あれは辛い別れでしたね。40年間貸金庫室の扉として勤め上げてきた銀行が取り壊し。まさに戦場でした。現れたお嬢さんが「コレ、取っておいてください」と言ってくれなければ、私は今頃廃棄処分場に埋まっていたでしょう。こうして旅館の入り口でお客さまをお迎えすることになるとは。扉人生第二幕、ご恩返しのつもりで精一杯勤めさせていただきます。

アクリル樹脂は1930年頃ドイツで工業生産が開始され、第二次世界大戦の影響で瞬く間に普及した。当初は航空機などの風防ガラスとして使用され、日本でも工業生産スタート。特性は「透明度」と「強度」。水族館の巨大水槽をはじめ、水上バスやゴンドラなどでその特性をいかんなく発揮している。

ACB
Arts & Crafts Book

自分らしい住まいがほしい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたに ACB

● editor's notes

宿と住まいの境界線。いったい何泊まれば、そこを住まいと言えるのでしょうか。船員や旅人やセールスマンなど、いろいろな人が訪れては去ってゆく都会の街。旅や仕事で訪れた大阪を気に入り、そのまま定住へのもありだと思うんですよね。そのきっかけにホステルロクヨンがなれば、それはホント幸せなこと。

発行日 2010年3月16日

発行人 中谷ノボル Arts & Crafts

編集 植田香 岡崎麗 阪口大介

竹内厚 (Re:S)

写真 清水奈緒

アート 黒瀬正剛

デザイン CURSOR (岡田ゆうや、みやあきみさ)

制作・発行 Arts & Crafts

株式会社アート アンド クラフト

550-0003 大阪市西区京町堀1-13-24-1F TEL.06-6443-1350

営業時間 10:00~18:00 水・日・祝休



春ですね。A&Cには新しいスタッフが増えて新鮮な風が流れています。これはオフィス内の歓迎会の様子。20人くらいになると、外での会場探しが意外に難しくついつい「我が家飲み」です。

Arts&Crafts www.a-crafts.co.jp

「自分らしい住まい」「ありきたりでない仕事場」

その実現をリノベーションでお手伝いします

●物件探し ●設計・デザイン ●工事施工

「空室が目立つ50-70年代のオフィスビルやアパート」

リノベーションすることで魅力ある物件に再生させます

一級建築士事務所 大阪府(イ)第21250号

建設業免許 大阪府知事(一)第116939号

宅地建物取引業 大阪府知事(3)第46315号

リノベーション住宅推進協議会正会員

大阪市神戸市まちづくりコンサルタント登録